

# 鶴田町 町民文化系施設計画

令和3年1月

令和3年4月改正

令和3年11月改正

令和4年4月改正

令和4年12月改正

令和5年1月改正

鶴田町

# 目次

## 第1章 [計画の概要](#)

1. 計画の目的.....	1
2. 計画の位置づけ.....	1
3. 計画期間.....	2
4. 対象施設.....	3
5. 進行管理.....	4

## 第2章 [施設の状態等](#)

1. 施設の利用状況.....	5
2. 施設の維持管理費.....	6
3. 施設の状態.....	7
4. これまでの主な整備・改修状況.....	9

## 第3章 [管理整備の方針](#)

1. 鶴田町公共施設等総合管理計画における基本的方針.....	14
2. 対策の優先順位に関する基本的な考え方.....	14
3. 長寿命化の基本方針.....	14
4. 今後の整備方針.....	16
5. 改修等の今後のスケジュール.....	18
6. 改修等の事業費・財源.....	18
7. フォローアップの実施.....	19

<a href="#">個別票</a> .....	20
---------------------------	----

# 第1章 計画の概要

## 1. 計画の目的

全国の自治体では、過去に建設された公共施設等がこれから大量に大規模改修や建て替えの時期を迎えることが懸念され、人口減少により公共施設等の需要が変化することが想定されています。

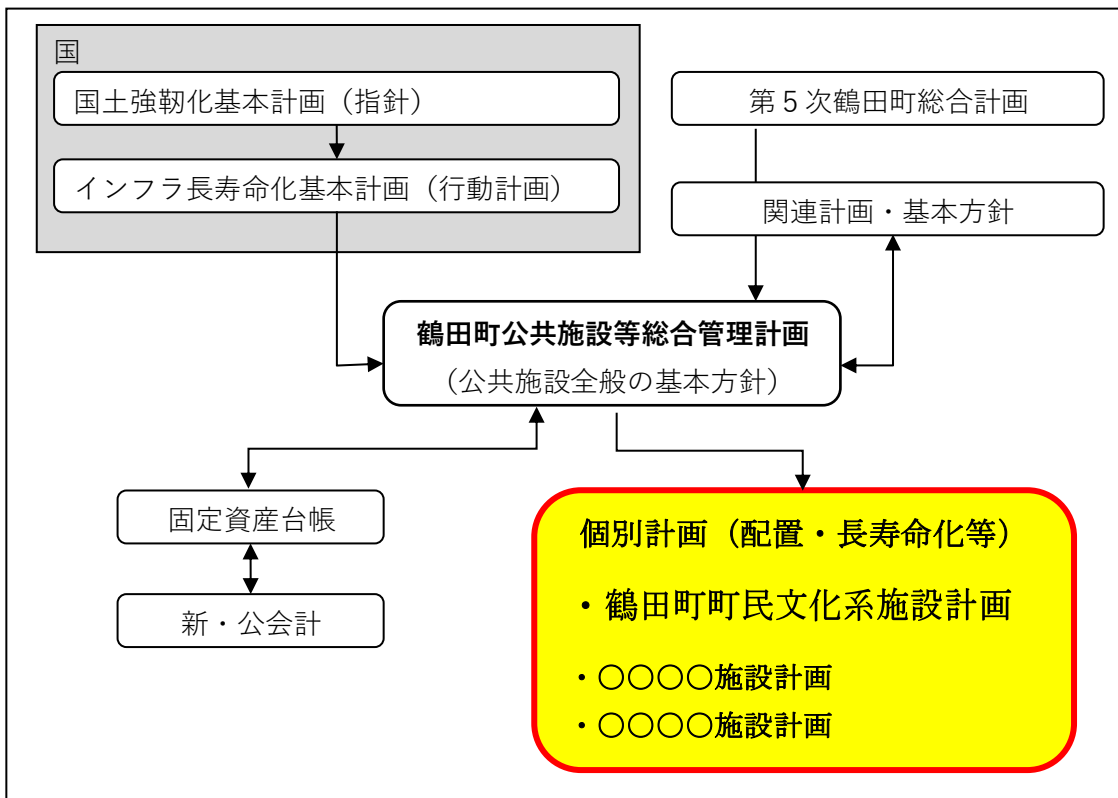
そこで、総務大臣より各自治体に対し、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するための計画（公共施設等総合管理計画）の策定に取り組むよう、通知が発出されました。鶴田町においても、1970年代から1980年代における急激な人口増加に伴い、公共施設の建設、道路や上下水道などのインフラ整備が行われ、今後、建物の大規模改修や建て替え、舗装や配水管等の更新が必要となってくることが予測されます。

これらの課題を解決するためには、町の公共施設等の全体を把握し、長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化を計画的に行い、財政負担の軽減・平準化を図らなくてはなりません。

そこで、町の公共施設等の計画的な管理及び最適な配置に関する基本的な方針を定めるため、平成29年3月に「鶴田町公共施設等総合管理計画」（以下「総合管理計画」）を策定しました。

今回策定した「鶴田町町民文化系施設計画」（以下「本計画」）は、総合管理計画で示した基本的な方針を具現化するため、個別施設ごとに老朽化の状態や今後の方向性、方向性に伴う事業費などについてまとめたものであり、将来に向けて、保有する公共施設等を有効活用しつつ、施設保有量の適正化や計画的な保全による施設の長寿命化を図る取組の指針とするものです。

## 2. 計画の位置づけ



### 3. 計画期間

総合管理計画の計画期間は平成 29 年度（2017 年度）から令和 8 年度（2026 年度）までの 10 年間としているため、本計画は、令和 3 年度（2021 年度）から令和 8 年度（2026 年度）までの 6 年間とし、以降、継続的な更新を行います。

なお、計画期間内であっても必要に応じ適宜見直すものとします。

## 4. 対象施設

本計画での対象施設は以下のとおりです。

施設名	所在地	建築年	延床面積 (㎡)	主体構造
①国際交流会館	鶴田字早瀬 200-1	1991	1,809	鉄筋コンクリート造
②町立中央公民館	鶴田字沖津 189-1	1974	1,689	鉄筋コンクリート造
町立中央公民館 (車庫)	鶴田字沖津 189-1	不明	35	木造
町立中央公民館 (住宅)	鶴田字沖津 189-1	不明	40	木造モルタル
町立中央公民館 (倉庫・物置)	鶴田字沖津 189-1	不明	38	木造モルタル
③農村環境改善センター「豊明館」	鶴田字早瀬 184-1	1982	1,273	鉄筋コンクリート造
④コミュニティプラザ	鶴田字前田 29-17	1998	200	木造
⑤妙堂崎担い手センター	妙堂崎字上林 34-8	1979	549	木造モルタル
⑥前中野集落農事集会所	木筒字上藤代 71-1	1986	157	木造
⑦共栄文化センター	妙堂崎字米山 267-3	不明	129	木造
⑧廻堰文化センター	廻堰字下桂井 58-3	1971	208	木造モルタル
⑨尾原文化センター	尾原字上亀甲 52	1978	162	木造モルタル
⑩田の尻文化センター	尾原字下亀甲 26-7	1975	193	木造モルタル
⑪西中野文化センター	木筒字上掛橋 48	1972	151	木造モルタル
⑫木筒文化センター	木筒字上柳川 31-4	1990	235	木造
⑬間山文化センター	野木字下糺 57-1	1965	262	木造モルタル
⑭野木ふれあいセンター	野木字西松虫 27-1	2010	288	木造
⑮強巻文化センター	鶴田字鷹ノ尾 99-3	1978	155	木造モルタル
⑯大巻ふれあいセンター	大巻字柳葉 309	1999	285	木造
⑰亀田新田子ふれあいセンター	鶴田字大泉 79-1	2001	316	木造
⑱瀬良沢ふれあいセンター	瀬良沢字篠田 40-2	1998	593	木造
⑲松倉文化センター	沖字藤巻 99-5	1970	233	木造モルタル
⑳横菟ふれあいセンター	横菟字松倉 2-1	2003	299	木造
㉑沖ふれあいセンター	沖字岡田 289-1	2017	257	木造
㉒山道文化センター	山道字小泉 371	1995	284	木造
㉓中野文化センター	胡桃館字北田 21	1965	202	木造モルタル
㉔境・胡桃館ふれあいセンター	胡桃館字池田 1-1	2005	404	木造
㉕鶴泊ふれあいセンター	鶴泊字東田 15	2007	298	木造
㉖あやめふれあいセンター	菖蒲川字一本柳 321-3	1993	349	木造
㉗大性ふれあいセンター	大性字一本柳 30-3	2002	294	木造
㉘駅東町営住宅集会所	鶴田字小泉 441-1	1975	104	木造モルタル
㉙鶴寿団地集会所	木筒字上柳川 46-1	1978	155	鉄骨造
㉚みどり町集会所	鶴田字沖津 237-54	1997	160	木造

※③農村環境改善センター「豊明館」は、別途個別施設計画を策定済。

## 5. 進行管理

### ①実施計画の作成

- ・施設所管課は、今後6年間で実施しようとする改修・修繕等の内容について実施計画を作成し、予算編成担当課と協議します。
- ・施設所管課は、実施計画全体の中から、必要に応じて管財担当課と協議の上、実施する改修・修繕等の内容について精査し、当該年度の予算要求について決定します。

### ②改修・修繕等の実施

- ・実施計画及び当該年度の予算に基づき、施設所管課は工事に関する発注や計画の事務を行い、改修・修繕等を実施します。必要に応じて管財担当課に支援を仰ぎ、工事の施工管理を行います。

### ③改修・修繕等の内容の記録、評価

- ・竣工後は、竣工検査を行い、施行内容について評価を行います。
- ・改修・修繕等の内容は施設管理台帳に記録し、個別施設計画の見直しの際に反映させます。

## 第2章 施設の状態等

### 1. 施設の利用状況

施設利用者数（過去3か年）

（人）

施設名	2017年度	2018年度	2019年度	将来推計 (2026年度)
①国際交流会館	6,598	4,307	7,218	4,000
②町立中央公民館	15,782	12,525	13,000	16,000
③農村環境改善センター「豊明館」	6,719	6,001	5,463	5,400
④コミュニティプラザ	26,995	23,526	21,898	18,000
⑤妙堂崎担い手センター	543	503	626	500
⑥前中野集落農事集会所	194	237	220	200
⑦共栄文化センター	183	180	180	180
⑧廻堰文化センター	575	656	701	650
⑨尾原文化センター	176	188	199	200
⑩田の尻文化センター	120	110	100	70
⑪西中野文化センター	201	204	206	200
⑫木筒文化センター	321	646	206	500
⑬間山文化センター	690	580	432	450
⑭野木ふれあいセンター	564	980	790	800
⑮強巻文化センター	154	297	199	250
⑯大巻ふれあいセンター	733	691	745	650
⑰亀田新田子ふれあいセンター	733	891	645	650
⑱瀬良沢ふれあいセンター	790	505	296	400
⑲松倉文化センター	256	310	148	200
⑳横菟ふれあいセンター	276	558	660	550
㉑沖ふれあいセンター	907	570	833	700
㉒山道文化センター	1,182	1,423	448	700
㉓中野文化センター	755	842	199	200
㉔境・胡桃館ふれあいセンター	1,850	2,020	1,250	1,200
㉕鶴泊ふれあいセンター	919	576	532	550
㉖あやめふれあいセンター	1,505	1,010	845	800
㉗大性ふれあいセンター	850	343	465	450
㉘駅東町営住宅集会所	664	523	629	500
㉙鶴寿団地集会所	141	248	440	200
㉚みどり町集会所	631	580	353	500

## 2. 施設の維持管理費

施設維持管理費（過去3か年）

(円)

施設名	2017年度	2018年度	2019年度	将来推計 (2026年度)
①国際交流会館	1,923,423	830,493	898,219	1,895,132
②町立中央公民館	5,027,653	5,325,653	3,472,663	3,621,694
③農村環境改善センター「豊明館」	12,435,236	8,855,129	7,252,210	10,081,421
④コミュニティプラザ	1,061,398	1,061,398	1,061,398	1,058,226
⑤妙堂崎担い手センター	291,410	338,629	387,752	399,118
⑥前中野集落農事集会所	120,632	125,051	130,216	130,859
⑦共栄文化センター	62,735	55,735	46,735	55,356
⑧廻堰文化センター	154,222	184,222	127,222	127,553
⑨尾原文化センター	142,548	137,548	128,548	119,248
⑩田の尻文化センター	103,250	106,467	85,912	88,865
⑪西中野文化センター	212,474	132,474	126,474	117,262
⑫木筒文化センター	239,704	225,704	209,704	216,191
⑬間山文化センター	250,405	311,405	322,405	320,302
⑭野木ふれあいセンター	486,689	340,689	305,689	300,515
⑮強巻文化センター	117,228	126,228	117,228	117,984
⑯大巻ふれあいセンター	165,067	237,067	143,067	176,109
⑰亀田新田子ふれあいセンター	432,492	497,492	406,492	422,112
⑱瀬良沢ふれあいセンター	435,858	390,858	313,858	388,009
⑲松倉文化センター	305,936	307,936	311,936	310,066
⑳横菟ふれあいセンター	361,968	322,968	303,968	298,771
㉑沖ふれあいセンター	389,016	352,275	231,275	300,515
㉒山道文化センター	82,860	82,860	82,860	79,823
㉓中野文化センター	150,091	135,091	144,091	146,469
㉔境・胡桃館ふれあいセンター	430,730	386,730	355,730	379,410
㉕鶴泊ふれあいセンター	296,761	297,761	259,761	258,574
㉖あやめふれあいセンター	425,331	343,331	339,331	348,559
㉗大性ふれあいセンター	332,932	302,932	312,932	317,788
㉘駅東町営住宅集会所	56,823	60,850	58,716	60,000
㉙鶴寿団地集会所	98,063	60,062	138,704	100,000
㉚みどり町集会所	103,520	102,633	109,316	100,000

※維持管理費には、修繕費、光熱水費、各種業務委託料、指定管理料等を含む。



### 3. 施設の状態

地域住民の文化活動やサークル活動、冠婚葬祭等、地域の様々なコミュニティ活動や、町が行う会議、税申告、検診、その他催事等に利用されています。また、災害時等においては避難所としての機能も有しており、非常に幅広い利用がなされています。

町民文化系施設は、施設総数30施設、総延床面積が11,806㎡となっています。国際交流会館、公民館、豊明館、コミュニティプラザは直営で、その他の施設は指定管理者制度で管理運営しています。

老朽化の状況は、延床面積合計の48.4%が築30年以上を経過しており、全30施設のうち、老朽化率が100%を超え、かつ築30年以上経過している施設は全体の23.2%という状況となっています。

施設名	耐用年数	経過年数	老朽化率 (%)	老朽化状況
①国際交流会館	50年	29年	58	国際交流ホール移動観覧席の駆動ラバーチェーンの一部破損。照明器具の劣化、外壁及び窓の劣化、トイレの劣化
②町立中央公民館	50年	46年	92	建物屋上部からの漏水、外壁一部剥離
町立中央公民館（車庫）	17年	不明	不明	大きな損傷箇所はなし。
町立中央公民館（住宅）	22年	不明	不明	大きな損傷箇所はなし。
町立中央公民館（倉庫・物置）	15年	不明	不明	大きな損傷箇所はなし。
③農村環境改善センター「豊明館」	50年	38年	76	非常用灯具、器具の経年劣化
④コミュニティプラザ	20年	22年	110	大きな損傷箇所はなし。
⑤妙堂崎担い手センター	22年	41年	186.4	大きな損傷箇所はありませんが、施設の老朽化による建物外壁と屋根の破損・劣化が懸念されます。
⑥前中野集落農事集会所	22年	34年	154.6	大きな損傷箇所はありませんが、施設の老朽化による屋根の破損・劣化が懸念されます。
⑦共栄文化センター	22年	不明	不明	大きな損傷箇所はなし。
⑧廻堰文化センター	22年	49年	222.7	建物外壁の部分崩落
⑨尾原文化センター	22年	42年	190.9	大きな損傷箇所はなし。
⑩田の尻文化センター	24年	45年	187.5	大きな損傷箇所はなし。
⑪西中野文化センター	22年	48年	218.2	大きな損傷箇所はありませんが、施設の老朽化による建物外壁の破損・劣化が懸念されます。
⑫木筒文化センター	22年	30年	136.4	大きな損傷箇所はなし。
⑬間山文化センター	22年	55年	250	建物外壁の部分崩落
⑭野木ふれあいセンター	22年	10年	45.5	大きな損傷箇所はなし。
⑮強巻文化センター	22年	42年	190.9	大きな損傷箇所はなし。
⑯大巻ふれあいセンター	22年	21年	95.5	大きな損傷箇所はなし。
⑰亀田新田子ふれあいセンター	22年	19年	86.4	大きな損傷箇所はなし。
⑱瀬良沢ふれあいセンター	22年	22年	100	大きな損傷箇所はなし。
⑲松倉文化センター	22年	50年	227.3	大きな損傷箇所はありませんが、施設の老朽化による建物外壁の破損・劣化が懸念されます。

⑳横菴ふれあいセンター	22年	17年	77.3	大きな損傷箇所はなし。
㉑沖ふれあいセンター	22年	3年	13.6	大きな損傷箇所はなし。
㉒山道文化センター	22年	25年	113.6	大きな損傷箇所はなし。
㉓中野文化センター	22年	55年	250	建物外壁の部分崩落
㉔境・胡桃館ふれあいセンター	22年	15年	68.2	大きな損傷箇所はなし。
㉕鶴泊ふれあいセンター	22年	13年	59.1	大きな損傷箇所はなし。
㉖あやめふれあいセンター	22年	27年	122.7	大きな損傷箇所はなし。
㉗大性ふれあいセンター	22年	18年	81.8	大きな損傷箇所はなし。
㉘駅東町営住宅集会所	22年	45年	204.5	大きな損傷箇所はなし。
㉙鶴寿団地集会所	22年	42年	190.9	大きな損傷箇所はなし。
㉚みどり町集会所	22年	23年	104.5	大きな損傷箇所はなし。

※老朽化率＝経過年数÷耐用年数×100（令和2年4月1日時点）

#### 4. これまでの主な整備・改修状況

最近の主な整備・改修状況は以下のとおりです。（総事業費が 1,300 千円以上の主な事業）  
※細かな修繕を除く。

事業名	役場庁舎及び国際交流会館屋根防水改修事業
対象施設	鶴田町役場庁舎、鶴田町国際交流会館
事業年度	平成 23 年度（2011 年度）
事業内容	庁舎等屋根防水改修工事
総事業費	25,924,000 円（財源内訳：一般財源 25,924,000 円）

事業名	公民館外部改修事業
対象施設	町立中央公民館
事業年度	平成 24 年度（2012 年度）
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部改修設計監理業務</li> <li>・外部改修工事（外壁研磨、塗装、玄関外部改修）</li> </ul>
総事業費	42,934,500 円（財源内訳：一般財源 42,934,500 円）

事業名	公民館内部改修事業
対象施設	町立中央公民館
事業年度	平成 25 年度（2013 年度）
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内部改修設計監理業務</li> <li>・内部改修工事（旧娯楽室・図書室撤去及び新図書室、調理室、男女トイレ、身障者トイレ、照明器機）</li> </ul>
総事業費	33,425,000 円（財源内訳：一般財源 33,425,000 円）

事業名	公民館内部改修事業
対象施設	町立中央公民館
事業年度	平成 26 年度（2014 年度）
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内部改修設計監理業務</li> <li>・内部改修工事（大集会室、事務室、視聴覚室、男女トイレ）</li> </ul>
総事業費	35,918,000 円（財源内訳：一般財源 35,918,000 円）

事業名	公民館エアコン設置事業
対象施設	町立中央公民館（大集会室）
事業年度	平成 27 年度（2015 年度）
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電源工事</li> <li>・エアコン設置工事</li> </ul>
総事業費	1,447,200 円（財源内訳：一般財源 1,447,200 円）

事業名	農村環境改善センター「豊明館」改修事業
対象施設	農村環境改善センター「豊明館」
事業年度	平成 24 年度（2012 年度）
事業内容	舞台幕及び内装改修
総事業費	2,194,500 円（財源内訳：一般財源 2,194,500 円）

事業名	農村環境改善センター「豊明館」屋根改修事業
対象施設	農村環境改善センター「豊明館」
事業年度	平成 26 年度（2014 年度）
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改修工事实施設計・管理業務</li> <li>・改修工事（屋根張替・塗装）</li> </ul>
総事業費	13,264,560 円（財源内訳：その他特定財源（助成金）11,121,000 円、一般財源 2,143,560 円）

事業名	農村環境改善センター「豊明館」利便性向上事業
対象施設	農村環境改善センター「豊明館」
事業年度	平成 29 年度（2017 年度）
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LED 灯具購入</li> <li>・多目的ホール及びエントランス照明LED化工事</li> <li>・多目的ホール暖房設備（ストーブ）取付工事</li> <li>・2階男女洋式便器取替工事</li> </ul>
総事業費	6,601,800 円（財源内訳：その他特定財源（助成金）6,500,000 円、一般財源 101,800 円）

事業名	農村環境改善センター「豊明館」利便性向上事業
対象施設	農村環境改善センター「豊明館」
事業年度	平成 30 年度（2018 年度）
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道接続工事</li> <li>・1階女子トイレ洋式便器取替工事</li> <li>・ロビー暖房設備設置工事</li> </ul>
総事業費	3,819,528 円（財源内訳：その他特定財源（助成金）3,700,000 円、一般財源 119,528 円）

事業名	農村環境改善センター「豊明館」利便性向上事業
対象施設	農村環境改善センター「豊明館」
事業年度	令和元年度（2019 年度）
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレ洋式化工事 （2階男子トイレ1箇所、2階女子トイレ2箇所）</li> <li>・多目的ホールステージ幕交換工事</li> <li>・屋外キュービクル内高圧機器交換工事</li> </ul>
総事業費	2,008,522 円（財源内訳：一般財源 2,008,522 円）

事業名	トイレ手洗場蛇口自動水栓交換業務
対象施設	農村環境改善センター「豊明館」
事業年度	令和2年度（2020年度）
事業内容	トイレ手洗場蛇口の自動水栓交換
総事業費	396,000円（財源内訳：一般財源396,000円）

事業名	自動ドア交換業務
対象施設	農村環境改善センター「豊明館」
事業年度	令和2年度（2020年度）
事業内容	正面入口自動ドア（外側）の交換
総事業費	495,000円（財源内訳：一般財源495,000円）

事業名	分電盤更新工事
対象施設	農村環境改善センター「豊明館」
事業年度	令和3年度（2021年度）
事業内容	分電盤交換（事務室内）
総事業費	1,096,700円（財源内訳：地方債900,000円、一般財源197,000円）

事業名	分電盤更新工事
対象施設	農村環境改善センター「豊明館」
事業年度	令和3年度（2021年度）
事業内容	分電盤交換（ステージ）
総事業費	418,000円（財源内訳：一般財源418,000円）

事業名	トイレ洋式化工事
対象施設	農村環境改善センター「豊明館」
事業年度	令和3年度（2021年度）
事業内容	トイレ洋式化工事（1階男子トイレ2箇所）
総事業費	715,000円（財源内訳：一般財源715,000円）

事業名	妙堂崎担い手センター改修及び整備事業
対象施設	妙堂崎担い手センター
事業年度	平成26年度（2014年度）
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改修設計監理業務</li> <li>・改修工事（土台・柱の腐食部分交換、外壁補修及び塗装、室内壁・建具塗装、外部階段塗装、屋根塗装）</li> </ul>
総事業費	10,765,535円（財源内訳：一般財源10,765,535円）

事業名	妙堂崎担い手センター整備事業
対象施設	妙堂崎担い手センター
事業年度	平成 26 年度（2014 年度）
事業内容	・下水道接続工事 ・火災報知装置設置工事
総事業費	5,019,840 円（財源内訳：一般財源 5,019,840 円）

事業名	前中野農事集落集会所外壁張替事業
対象施設	前中野農事集落集会所
事業年度	平成 24 年度（2012 年度）
事業内容	外壁張替
総事業費	3,433,500 円（財源内訳：一般財源 3,433,500 円）

事業名	下水道接続及びトイレ改修事業
対象施設	尾原文化センター
事業年度	平成 24 年度（2012 年度）
事業内容	下水道接続及びトイレ改修工事
総事業費	1,816,500 円（財源内訳：一般財源 1,816,500 円）

事業名	屋根改修事業
対象施設	田の尻文化センター
事業年度	平成 25 年度（2013 年度）
事業内容	屋根改修工事
総事業費	3,276,000 円（財源内訳：一般財源 3,276,000 円）

事業名	下水道接続及びトイレ改修事業
対象施設	西中野文化センター
事業年度	平成 24 年度（2012 年度）
事業内容	下水道接続及びトイレ改修工事
総事業費	1,470,000 円（財源内訳：一般財源 1,470,000 円）

事業名	屋根改修事業
対象施設	木筒文化センター
事業年度	平成 31 年度（2019 年度）
事業内容	屋根トタン葺き替え工事
総事業費	1,295,000 円（財源内訳：一般財源 1,295,000 円）

事業名	外壁改修事業
対象施設	鶴田東部地区コミュニティセンター（瀬良沢ふれあいセンター）
事業年度	平成 23 年度（2011 年度）
事業内容	外壁改修
総事業費	2,131,500 円（財源内訳：一般財源 2,131,500 円）

事業名	ふれあいセンター建設事業
対象施設	沖ふれあいセンター
事業年度	平成 28 年度（2016 年度）
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設設計監理業務</li> <li>・建設工事</li> </ul>
総事業費	57,557,472 円（財源内訳：地方債 42,700,000 円、一般財源 14,857,472 円）

事業名	下水道接続及びトイレ改修事業
対象施設	中野文化センター
事業年度	平成 27 年度（2015 年度）
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道接続工事</li> <li>・トイレ改修工事</li> </ul>
総事業費	1,878,120 円（財源内訳：一般財源 1,878,120 円）

事業名	下水道接続及びトイレ改修事業
対象施設	鶴寿団地集会所
事業年度	平成 27 年度（2015 年度）
事業内容	下水道接続及びトイレ改修工事
総事業費	1,598 千円（財源内訳：一般財源 1,598 千円）

事業名	国際交流会館音響設備交換業務
対象施設	国際交流会館
事業年度	令和 3 年度（2021 年度）
事業内容	音響設備（ミキサー）交換
総事業費	411,400 円（財源内訳：一般財源 411,400 円）

## 第3章 管理整備の方針

### 1. 鶴田町公共施設等総合管理計画における基本の方針

総合管理計画では、町民文化系施設の基本的な方針として下記のようにまとめています。

#### ①点検・診断等の実施方針

予防保全の観点から計画的な施設の点検・診断を行い、施設の状況を把握します。

#### ②維持管理・修繕・更新・長寿命化・耐震化の実施方針

点検及び診断等の結果に基づき、施設の適切な維持管理を行い、必要な修繕を行うことで、ライフサイクルコストの縮減・平準化及び長寿命化を実施します。

施設の更新及び耐震化については、施設の必要性や需要を考慮し、総合的に判断します。

#### ③安全確保の実施方針

点検・診断等により高度の危険性があると認められた施設について、適切な時期及び方法で必要な修繕を行います。また、今後も必要と見込まれる施設については、老朽度に応じて耐震化を検討します。

#### ④統合や廃止の推進方針

多くの施設が災害時の指定避難所となっていることから、当面の統合・廃止については推進しません。ただし、老朽化が著しい施設や利用度・稼働率が低い施設については、今後の維持管理費、改修費等を勘案し、統合も視野に入れた有効活用を図るための検討を進めます。

### 2. 対策の優先順位に関する基本的な考え方

耐用年数が経過し、老朽化率が高い施設を基本とし、施設の稼働率が高く、施設利用者が多い等、町民に対する影響度がより大きい施設から順に改修・修繕等を行うこととします。整備する対象の選定にあたっては、利用者の安全安心を確保するため、施設（建物・設備）の損傷・劣化等に対する修繕（又は改修）を第一優先とし、次に利用者に対する利便性の確保、次いでバリアフリー対策（トイレ洋式化、手すり設置）等とします。

施設全般が老朽化していることもあり、緊急工事等も懸念されるため、優先順位によらないことも想定されます。



### 3. 長寿命化の基本方針

公共施設等の長寿命化の目標として、施設使用の計画期間である「目標使用年数」を設定します。

目標使用年数は、施設の計画的な保全を実施するために設定するもので、「建築物の耐久計画に関する考え方」（日本建築学会）を参考とし、構造別に以下のとおり設定します。

#### 【目標使用年数】

構 造	耐用年数	
	代表値	目標使用年数
鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄筋コンクリート造・鉄骨造	60年	80年
木造・木造モルタル等・その他	40年	50年

#### 【建築物全体の望ましい目標耐用年数の級】

用途	鉄筋コンクリート造		鉄骨造			ブロック造 れんが造	木造
	鉄骨鉄筋コンクリート造		重量鉄骨		軽量 鉄骨		
	高品質 の場合	普通の品質 の場合	高品質 の場合	普通の品質 の場合			
学校・官庁	Yo100 以上	Yo60 以上	Yo100 以上	Yo60 以上	Yo40 以上	Yo60 以上	Yo60 以上
住宅・事務所 ・病院	Yo100 以上	Yo60 以上	Yo100 以上	Yo60 以上	Yo40 以上	Yo60 以上	Yo40 以上
店舗・旅館 ・ホテル	Yo100 以上	Yo60 以上	Yo100 以上	Yo60 以上	Yo40 以上	Yo60 以上	Yo40 以上
工場	Yo40 以上	Yo25 以上	Yo40 以上	Yo25 以上	Yo25 以上	Yo25 以上	Yo25 以上

出典：建築物の耐久計画に関する考え方（日本建築学会）

#### 【目標耐用年数の級の区分の例】

級	目標耐用年数		
	代表値	範 囲	下限値
Yo150 以上	150年	120 ～ 200年	120年
Yo100 以上	100年	80 ～ 100年	80年
Yo60 以上	60年	50 ～ 80年	50年
Yo40 以上	40年	30 ～ 50年	30年
Yo25 以上	25年	20 ～ 30年	20年

出典：建築物の耐久計画に関する考え方（日本建築学会）

※Yo：目標耐用年数の級を表す記号

## 4. 今後の整備方針

### (1) 国際交流会館、公民館、豊明館

施設規模が大きく、町内の関係団体や町主催の会議や行事、冠婚葬祭等で広く利用されており、また、避難所など地域の防災活動の拠点となっていることから施設を存続します。今後は施設の老朽化が進行し、建物や設備の損傷や劣化の発生・進行が予測されるため、損傷・劣化の程度が著しく、施設利用者への負担が大きい箇所から優先的に改修・修繕し、施設の長寿命化を図っていきます。

国際交流会館については、建物の破損等は生じておりませんが、国際交流ホールの移動観覧席について、駆動ラバーチェーンが一部破損しているため交換する必要があります。

また、照明用の高圧水銀ランプが令和2年12月31日から製造等が禁止されたことからLED照明への計画的な切替を実施する必要があるため、照明器具のLED更新事業を随時進めていきます。令和5年度からは、国際交流ホール及び談話ホールの天井照明器具のLED更新工事を実施します。

さらに、庁舎同様、建物の外壁や窓の改修工事やトイレの洋式化工事の実施に向けて計画を進めていきます。

公民館については、建物の耐震工事のほか、2階照明器具のLED化や建物外壁の塗装工事の実施を今後検討していきます。

豊明館については、非常用灯具・器具の交換、生活研修室照明器具のLED化工事を令和4年度から実施していき、施設利用者の利便性を確保していきます。

### (2) コミュニティプラザ

地域住民の交流場所、駅利用者の待合室、町の観光案内所として利用需要が高く、必要な施設であるため存続します。今後は老朽化が進行し、建物や設備の損傷や劣化の発生・進行が予測されるため、LED化工事、屋根の葺き替え工事、外壁の張替工事などを計画的に実施しながら施設の長寿命化を図っていきます。

### (3) 担い手センター、集会所、文化センター、ふれあいセンター

施設の多くが地域住民のコミュニティ活動の推進及び地域の防災活動等の拠点となっており、地域住民の利用需要が見込まれることから施設を存続します。今後は施設の老朽化が進行し、建物や設備の損傷や劣化の発生・進行が予測されるため、計画的な点検を実施の上、改修や修繕を実施し、施設の長寿命化を図っていきます。

妙堂崎担い手センターについては、建物外壁と屋根の改修工事の実施を今後検討していきます。また、前中野集落農事集会所についても屋根の改修工事の実施を今後検討していきます。

廻堰、西中野、間山、松倉、中野地区の5文化センターについては建設から50年近く経過しているため、施設の老朽化による建物や設備の損傷・劣化が懸念されます。特に、廻堰文化センターは老朽化が著しく、改修や修繕等では建物の維持管理が困難な状況であるため、現在の建物を解体し、新たに建替えます。また、西中野、間山、松倉、中野地区の文化センターについても建物外壁の部分崩落が発生している施設もあり、今後も建物や設備の損傷・劣化が予測されるため、改修や修繕等の実施について検討する必要があります。

施設名	方向性	行動計画	管理方法	説明
①国際交流会館	存続	一部改修	直営	国際交流ホールの移動観覧席駆動ラバーチェーンの交換を実施します。また、天井照明器具のLED更新工事を実施するほか、建物外壁及び屋根、窓の改修工事やトイレの洋式化工事の実施に向けて計画を進めていきます。
②町立中央公民館	存続	一部改修	直営	耐震工事、2階照明器具のLED化、外壁塗装の将来的な実施を検討しつつ、現在の建物を維持します。
町立中央公民館（車庫）	存続	現状維持	直営	現在の建物を維持します。
町立中央公民館（住宅）	存続	現状維持	直営	現在の建物を維持します。
町立中央公民館（倉庫・物置）	存続	現状維持	直営	現在の建物を維持します。
③農村環境改善センター「豊明館」	存続	一部改修	直営	非常用灯具・器具の交換、生活研修室照明器具のLED化工事を実施します。
④コミュニティプラザ	存続	一部改修	直営	LED化工事、屋根の葺き替え工事、外壁の張替工事などを計画的に実施します。
⑤妙堂崎担い手センター	存続	現状維持	指定管理	建物外壁と屋根の改修工事の将来的な実施を検討しつつ、現在の建物を維持します。
⑥前中野集落農事集会所	存続	現状維持	指定管理	屋根の改修工事の将来的な実施を検討しつつ、現在の建物を維持します。
⑦共栄文化センター	存続	現状維持	指定管理	現在の建物を維持します。
⑧廻堰文化センター	存続	更新	指定管理	老朽化のため、施設を建替えます。
⑨尾原文化センター	存続	現状維持	指定管理	現在の建物を維持します。
⑩田の尻文化センター	存続	現状維持	指定管理	現在の建物を維持します。
⑪西中野文化センター	存続	現状維持	指定管理	建物外壁の改修工事の将来的な実施を検討しつつ、現在の建物を維持します。
⑫木筒文化センター	存続	現状維持	指定管理	現在の建物を維持します。
⑬間山文化センター	存続	現状維持	指定管理	建物外壁の改修工事の将来的な実施を検討しつつ、現在の建物を維持します。
⑭野木ふれあいセンター	存続	現状維持	指定管理	現在の建物を維持します。
⑮強巻文化センター	存続	現状維持	指定管理	現在の建物を維持します。
⑯大巻ふれあいセンター	存続	現状維持	指定管理	現在の建物を維持します。
⑰亀田新田子ふれあいセンター	存続	現状維持	指定管理	現在の建物を維持します。
⑱瀬良沢ふれあいセンター	存続	現状維持	指定管理	現在の建物を維持します。
⑲松倉文化センター	存続	現状維持	指定管理	建物外壁の改修工事の将来的

				な実施を検討しつつ、現在の建物を維持します。
⑳横菴ふれあいセンター	存続	現状維持	指定管理	現在の建物を維持します。
㉑沖ふれあいセンター	存続	現状維持	指定管理	現在の建物を維持します。
㉒山道文化センター	存続	現状維持	指定管理	現在の建物を維持します。
㉓中野文化センター	存続	現状維持	指定管理	建物外壁の改修工事の将来的な実施を検討しつつ、現在の建物を維持します。
㉔境・胡桃館ふれあいセンター	存続	現状維持	指定管理	現在の建物を維持します。
㉕鶴泊ふれあいセンター	存続	現状維持	指定管理	現在の建物を維持します。
㉖あやめふれあいセンター	存続	現状維持	指定管理	現在の建物を維持します。
㉗大性ふれあいセンター	存続	現状維持	指定管理	現在の建物を維持します。
㉘駅東町営住宅集会所	存続	現状維持	指定管理	現在の建物を維持します。
㉙鶴寿団地集会所	存続	現状維持	指定管理	現在の建物を維持します。
㉚みどり町集会所	存続	現状維持	指定管理	現在の建物を維持します。

※施設の方向性等の説明

方向性	行動計画	説明
存続	現状維持	現状のまま維持
	大規模改修	長寿命化等のため、建物を全面的に改修
	一部改修	長寿命化等のため、建物の一部を改修
	多機能化	分類の違う別の目的の施設の機能を取り入れる
	集約化	同じ目的の複数の施設を一つに集約
	広域化	他自治体と施設を共用し、コストを分担
	更新	老朽化等のため建物を更新
廃止	民間移譲	民間事業者等へ譲渡（売却、貸与等）
	転用	施設機能を廃止し、他用途へ転用
	地域移管	利用が地域に限定されている場合、地域へ移管
	除却（廃止）	施設を解体・除却し、機能も廃止

※施設の管理方法の説明

管理方法		説明
直営		町の直営 (個別の業務ごとに私法上の契約で委託する方式を含む)
民間委託	指定管理	指定管理者による管理運営方式
	包括的民間委託	複数の業務や施設を包括的に委託する方式
	P F I など	公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う方式

## 5. 改修等の今後のスケジュール

施設名	今後のスケジュール				
	2022	2023	2024	2025	2026
①国際交流会館	改修	改修	改修	改修	改修
③農村環境改善センター「豊明館」	改修	改修	改修	改修	
④コミュニティプラザ	改修	改修	改修	改修	
⑧廻堰文化センター	更新	更新	更新		

## 6. 改修等の事業費・財源

施設名	事業年度	事業費 (千円)	事業費内訳 (千円)	財源 (千円)
①国際交流会館	2022	1,645	国際交流ホール移動 観覧席駆動ラバーチ ェーン交換業務 (1,645)	一般財源 (1,645)
	2023	12,918	天井照明器具 LED 更 新工事 (12,918)	一般財源 (12,918)
③農村環境改善センター 「豊明館」	2022	2,200	非常用灯具及び器具 更新 (2,200)	地方債 (1,900) 一般財源 (300)
	2023	1,000	生活研修室 LED 工事 (1,000)	地方債 (900) 一般財源 (100)
	2025	500	自動ドア交換工事 (500)	地方債 (450) 一般財源 (50)
⑧廻堰文化センター	2022	3,000	設計監理委託 (3,000)	一般財源 (3,000)
	2023	50,000	建設工事 (50,000)	地方債 (50,000)

※事業費等は、調査・設計の結果を受けて変動する場合があります。

### 6年後（2026年度）の施設状況比較

総延床面積（㎡）		維持管理コスト（円）	
現在	6年後（2026年度）	現在（※）	6年後（2026年度）
11,806	11,806	22,620,452	22,335,931

※2017年度から2019年度までの3か年平均

## 7. フォローアップの実施

計画を着実に推進していくため、PDCAサイクル（P l a n（計画）、D o（実行）、C h e c k（評価）、A c t i o n（改善））に基づき、計画の評価・見直しを行いながら実施していきます。

施設所管課	総務課
-------	-----

## 1. 施設の概要

施設名称	鶴田町国際交流会館	代表建築年度	1991
所在地	鶴田町大字鶴田字早瀬 200 番地 1	総延床面積 (㎡)	1,809
主体構造	鉄筋コンクリート	構成施設	国際交流会館
劣化状況調査	未実施	大規模改修	未実施
耐震性	- (新耐震性基準)	耐震度調査	未実施
施設の目的	国際化時代に対応できる人づくり、より幅広い国際交流事業を効果的に展開することを目的とする。		

## 2. 施設の現況

(1) 建物性能 ※建物性能の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
国際交流会館	20	24	10	12	6	72

(2) 年間利用者数 (単位: 人)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
6,598	4,307	7,218	4,000

(3) 施設維持管理費 (単位: 円)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
1,923,423	830,493	898,219	1,895,132

※光熱水費と管理業務委託費の一部 (移動観覧席保守点検業務と舞台装置保守点検業務以外の委託業務) は庁舎分の請求に一括で含まれているため、計上していない。

(4) 利用料等収入 (単位: 円)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
682,676	638,755	283,362	400,000

## 3. 施設の基本方針

方向性	存続	行動計画	一部改修	管理方法	直営
<p><b>【施設の現状と課題】</b> 国際交流に関する行事等での利用が主ですが、その他にも町内の関係団体による行事や会議等での利用、冠婚葬祭、町主催の会議や検診、税申告、催事等で利用されています。</p> <p>建設後 30 年近く経過しているため、老朽化による建物や設備の破損・劣化が生じており、その都度、修繕等に対応しています。現状では大きな損傷等はありません。平成 23 年度 (2011 年度) に建物屋根の防水改修工事、平成 25 年度 (2013 年度) に国際交流ホールの舞台装置の修繕を実施しました。令和 3 年度 (2021 年度) に国際交流会館の音響設備を交換しました。</p>					
<p><b>【基本方針】</b> 今後も地域住民や関係団体、職員等による利用需要が見込まれることから施設を存続します。今後は施設の老朽化が進行し、建物や設備の損傷や劣化の発生・進行が予測されるため、損傷・劣化の程度が著しく、施設利用者への負担が大きい箇所から優先的に改修・修繕し、施設の長寿命化を図っていきます。国際交流ホールの移動観覧席の駆動ラバーチェーンが一部破損しているため、令和 4 年度 (2022 年度) に交換します。また、LED 照明への計画的な切替を実施するため、令和 5 年度は国際交流ホール及び談話ホールの天井照明器具の LED 更新工事を実施するほか、外壁及び窓の改修工事やトイレの洋式化工事の実施に向けて計画を進めていきます。</p>					

施設所管課	教育委員会
-------	-------

## 1. 施設の概要

施設名称	鶴田町公民館	代表建築年度	1974
所在地	鶴田町大字鶴田字沖津 189 番地 1	総延床面積 (㎡)	1,802
主体構造	鉄筋コンクリート	構成施設	公民館、車庫、住宅、倉庫・物置
劣化状況調査	未実施	大規模改修	未実施
耐震性	- (旧耐震性基準)	耐震度調査	未実施
施設の目的	鶴田町の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。		

## 2. 施設の現況

(1) 建物性能 ※建物性能の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
公民館	4	16	10	16	6	52
車庫	4	8	6	4	2	24
住宅	4	8	6	4	2	24
倉庫・物置	4	8	6	4	2	24

(2) 年間利用者数 (公民館年間利用者数) (単位: 人)

過去 3 年間			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
15,782	12,525	13,000	16,000

(3) 施設維持管理費 (単位: 円)

過去 3 年間			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
5,027,653	5,325,653	3,472,663	3,621,694

(4) 利用料等収入 (単位: 円)

過去 3 年間			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
384,776	583,674	496,331	450,000

## 3. 施設の基本方針

方向性	存続	行動計画	一部改修	管理方法	直営
<p>【施設の現状と課題】</p> <p>避難場所に指定されています。</p> <p>町内の関係団体や町主催の行事や会議、冠婚葬祭等のほか、図書室を利用する地域住民が利用しています。建設から 50 年近く経過し老朽化が進行しています。修繕や改修を重ねることで延命化を図っていますが、経年劣化による建物や設備の破損・劣化が発生しています。現状では、屋上部からの漏水、外壁塗装が一部剥離しています。</p> <p>平成 24 年度 (2012 年度) から 26 年度 (2014 年度) までに建物外部及び内部の改修工事を実施しました。</p> <p>【基本方針】</p> <p>地域住民のコミュニティ活動の推進及び地域の防災活動等の拠点となっているため施設を存続します。今後は施設の老朽化が進行し、建物や設備の損傷や劣化の発生・進行が予測されるため、損傷・劣化の程度が著しく、施設利用者への負担が大きい箇所から優先的に改修・修繕し、施設の長寿命化を図っていきます。また、耐震工事や、2 階照明器具の LED 化、建物外壁の塗装工事の今後の実施について検討していきます。</p>					



施設所管課	産業課
-------	-----

## 1. 施設の概要

施設名称	農村環境改善センター「豊明館」	代表建築年度	1982
所在地	鶴田町大字鶴田字早瀬 184 番地 1	総延床面積 (㎡)	1, 273
主体構造	鉄筋コンクリート	構成施設	豊明館
劣化状況調査	実施済 (平成 30 年度定期調査)	大規模改修	未実施
耐震性	- (新耐震性基準)	耐震度調査	未実施
施設の目的	農村の環境整備を組織的に推進し、生活の合理的改善を促進するとともに農村地域住民の福祉の向上を図ることを目的とする。		

## 2. 施設の現況

(1) 建物性能 ※建物性能の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
豊明館	20	16	10	12	6	64

(2) 年間利用者数 (単位: 人)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
6, 719	6, 001	5, 463	5, 400

(3) 施設維持管理費 (単位: 円)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
12, 435, 236	8, 855, 129	7, 252, 210	10, 081, 421

(4) 利用料等収入 (単位: 円)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
388, 644	342, 528	701, 623	450, 000

## 3. 施設の基本方針

方向性	存 続	行動計画	一部改修	管理方法	直 営
<p>【施設の現状と課題】</p> <p>避難場所に指定されています。</p> <p>現在は、農業関係団体の会議、冠婚葬祭、町主催の行事等で利用されています。建設後 40 年近く経過し、経年劣化による建物や設備の破損・劣化が生じています。現状では、事務室内分電盤の不良のほか、非常用灯具・器具 (36 灯) が経年劣化により交換する必要があります。</p> <p>令和 3 年度 (2021 年度) に事務室内分電盤交換工事や 1 階男子トイレの洋式化工事、正面玄関入口 (外側) の自動ドア交換工事を実施しました。</p>					
<p>【基本方針】</p> <p>農業関係団体による利用や地域住民のコミュニティ活動の推進及び地域の防災活動等の拠点となっていることから施設を存続します。今後は施設の老朽化が進行し、建物や設備の損傷や劣化の発生・進行が予測されるため、損傷・劣化の程度が著しく、施設利用者への負担が大きい箇所から優先的に改修・修繕し、施設の長寿命化を図っていきます。令和 4 年度 (2022 年度) から、非常用灯具・器具の交換、生活研修室照明器具の LED 化工事等を実施します。</p>					



施設所管課	企画観光課
-------	-------

## 1. 施設の概要

施設名称	コミュニティプラザ	代表建築年度	1998
所在地	鶴田町大字鶴田字前田 29 番地 17	総延床面積 (㎡)	200
主体構造	木造	構成施設	コミュニティプラザ
劣化状況調査	未実施	大規模改修	未実施
耐震性	- (新耐震性基準)	耐震度調査	未実施
施設の目的	町民相互の交流を図り、住みよい地域社会づくりを推進するため、地域の人々のふれあいの場として設置する。		

## 2. 施設の現況

(1) 建物性能 ※建物性能の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
コミュニティプラザ	20	8	6	4	6	44

(2) 年間利用者数 (単位: 人)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
26,995	23,526	21,898	18,000

(3) 施設維持管理費 (単位: 円)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
1,061,398	1,061,398	1,061,398	1,058,226

(4) 利用料等収入 (単位: 円)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
0	0	0	0

## 3. 施設の基本方針

方向性	存 続	行動計画	一部改修	管理方法	直 営
<p>【施設の現状と課題】</p> <p>JR 陸奥鶴田駅の駅舎に併設しており、電車を利用する地域住民や観光客の待合室として使用されています。また、施設内には観光案内所が設置されており、町内外から訪れる観光客への観光案内やお土産品の販売を行っています。現状では大きな損傷等はありませんが、建設後 20 年以上経過していることから、省エネルギー化を図るために LED 照明への交換や、長寿命化を図るために屋根の葺き替えや外壁の張替工事などを実施する事が必要となっています。</p>					
<p>【基本方針】</p> <p>地域住民の交流場所、駅利用者の待合室、町の観光案内所として利用需要が高く、必要な施設であるため存続します。今後は施設の老朽化が進行し、建物や設備の損傷や劣化の発生・進行が予測されるため、LED 化工事、屋根の葺き替え工事、外壁の張替工事などを計画的に実施しながら施設の長寿命化を図っていきます。</p>					

施設所管課	産業課
-------	-----

## 1. 施設の概要

施設名称	妙堂崎担い手センター	代表建築年度	1979
所在地	鶴田町大字妙堂崎字上林 34 番地 8	総延床面積 (㎡)	549
主体構造	木造モルタル	構成施設	担い手センター
劣化状況調査	実施済 (平成 30 年度定期調査)	大規模改修	未実施
耐震性	- (旧耐震性基準)	耐震度調査	未実施
施設の目的	農業の振興を期するために農業の担い手育成を目的とする。		

## 2. 施設の現況

(1) 建物性能 ※建物性能の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
担い手センター	4	8	6	12	2	32

(2) 年間利用者数 (単位: 人)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
543	503	626	500

(3) 施設維持管理費 (単位: 円)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
291, 410	338, 629	387, 752	399, 118

(4) 利用料等収入 (単位: 円)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
56, 440	176, 800	139, 754	100, 000

## 3. 施設の基本方針

方向性	存続	行動計画	現状維持	管理方法	指定管理
<p>【施設の現状と課題】</p> <p>避難場所に指定されています。</p> <p>現在は、地域住民の行事や会議、冠婚葬祭等で利用されています。現状では大きな損傷等はありませんが、建設後 40 年近く経過しているため、今後は老朽化による建物 (外壁、屋根) や設備の破損・劣化が懸念されます。</p> <p>平成 25 年度 (2013 年度) に内壁・外壁の補修、建物土台、柱の腐食箇所交換等の工事を実施しました。</p>					
<p>【基本方針】</p> <p>地域住民のコミュニティ活動の推進及び地域の防災活動等の拠点となっており、今後も地域住民の利用需要が見込まれることから施設を存続します。今後は施設の老朽化が進行し、建物や設備の損傷や劣化の発生・進行が予測されるため、計画的な点検を実施の上、改修や修繕を実施し、施設の長寿命化を図っていきます。また、建物外壁や屋根の改修工事の今後の実施について検討していきます。</p>					

施設所管課	産業課
-------	-----

## 1. 施設の概要

施設名称	前中野集落農事集会所	代表建築年度	1986
所在地	鶴田町大字木筒字上藤代 71 番地 1	総延床面積 (㎡)	157
主体構造	木造	構成施設	集会所
劣化状況調査	未実施	大規模改修	未実施
耐震性	- (新耐震性基準)	耐震度調査	未実施
施設の目的	農業の振興を期するために、農地の流動化を推進し、中核的担い手農家の育成および確保、生産組織の強化並びに集落環境の整備を図る。		

## 2. 施設の現況

(1) 建物性能 ※建物性能の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
集会所	20	8	6	12	2	48

(2) 年間利用者数 (単位: 人)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
194	237	220	200

(3) 施設維持管理費 (単位: 円)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
120, 632	125, 051	130, 216	130, 859

(4) 利用料等収入 (単位: 円)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
7, 500	6, 000	7, 835	40, 000

## 3. 施設の基本方針

方向性	存 続	行動計画	現状維持	管理方法	指定管理
<p><b>【施設の現状と課題】</b>  避難場所に指定されています。  現在は、地域住民の集会の場となっているほか、冠婚葬祭等で利用されています。現状では大きな損傷等はありませんが、建設後 30 年以上経過しているため、今後は老朽化による建物(屋根)や設備の破損・劣化が懸念されます。  平成 24 年度(2012 年度)に外壁張替等の改修工事を実施しました。</p> <p><b>【基本方針】</b>  地域住民のコミュニティ活動の推進及び地域の防災活動等の拠点となっており、今後も地域住民の利用需要が見込まれることから施設を存続します。今後は施設の老朽化が進行し、建物や設備の損傷や劣化の発生・進行が予測されるため、計画的な点検を実施の上、改修や修繕を実施し、施設の長寿命化を図っていきます。また、屋根の改修工事の今後の実施について検討していきます。</p>					

施設所管課	教育委員会
-------	-------

## 1. 施設の概要

施設名称	共栄文化センター	代表建築年度	不明
所在地	鶴田町大字妙堂崎字米山 267 番地 3	総延床面積 (㎡)	129
主体構造	木造	構成施設	文化センター
劣化状況調査	未実施	大規模改修	未実施
耐震性	-	耐震度調査	未実施
施設の目的	地域住民が自主的に教養の向上、健康の増進及び情操の純化を図る場として、地域の生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与するため。		

## 2. 施設の現況

(1) 建物性能 ※建物性能の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
文化センター	4	8	6	4	2	24

(2) 年間利用者数 (単位: 人)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
183	180	180	180

(3) 施設維持管理費 (単位: 円)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
62, 735	55, 735	46, 735	55, 356

(4) 利用料等収入 (単位: 円)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
26, 000	20, 000	20, 000	20, 000

## 3. 施設の基本方針

方向性	存 続	行動計画	現状維持	管理方法	指定管理
<p>【施設の現状と課題】</p> <p>避難場所に指定されています。</p> <p>現在は、地域住民の集会の場となっているほか、冠婚葬祭等で利用されています。現状では大きな損傷等はありませんが、建設後 30 年以上経過しているため、今後は老朽化による建物や設備の破損・劣化が懸念されます。</p>					
<p>【基本方針】</p> <p>地域住民のコミュニティ活動の推進及び地域の防災活動等の拠点となっており、今後も地域住民の利用需要が見込まれることから施設を存続します。今後は施設の老朽化が進行し、建物や設備の損傷や劣化の発生・進行が予測されるため、計画的な点検を実施の上、改修や修繕を実施し、施設の長寿命化を図っていきます。</p>					

施設所管課	教育委員会
-------	-------

## 1. 施設の概要

施設名称	廻堰文化センター	代表建築年度	1971
所在地	鶴田町大字廻堰字下桂井 58 番地 3	総延床面積 (㎡)	208
主体構造	木造モルタル	構成施設	文化センター
劣化状況調査	未実施	大規模改修	未実施
耐震性	- (旧耐震性基準)	耐震度調査	未実施
施設の目的	地域住民が自主的に教養の向上、健康の増進及び情操の純化を図る場として、地域の生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与するため。		

## 2. 施設の現況

(1) 建物性能 ※建物性能の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
文化センター	4	8	6	4	2	24

(2) 年間利用者数 (単位: 人)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
575	656	701	650

(3) 施設維持管理費 (単位: 円)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
154, 222	184, 222	127, 222	127, 553

(4) 利用料等収入 (単位: 円)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
23, 000	60, 000	62, 000	60, 000

## 3. 施設の基本方針

方向性	存 続	行動計画	更 新	管理方法	指定管理
<p><b>【施設の現状と課題】</b>            避難場所に指定されています。            現在は、地域住民の集会の場となっているほか、冠婚葬祭等で利用されています。建設後 50 年近く経過し、老朽化による建物や設備の破損・劣化が生じています。現状では、外壁が一部崩落している箇所があるなど、改修や修繕等では建物の維持管理が困難な状況です。            平成 22 年度 (2010 年度) に内装改修工事を実施しました。</p>					
<p><b>【基本方針】</b>            地域住民のコミュニティ活動の推進及び地域の防災活動等の拠点となっており、今後も地域住民の利用需要が見込まれることから施設を存続することが望ましいですが、施設の老朽化が著しいため、令和 5 年度 (2023 年度) 以降に現在の建物を解体し、新たに建替えます (実施設計は令和 4 年度 (2022 年度))。</p>					

施設所管課	教育委員会
-------	-------

## 1. 施設の概要

施設名称	尾原文化センター	代表建築年度	1978
所在地	鶴田町大字尾原字上亀甲 52 番地	総延床面積 (㎡)	162
主体構造	木造モルタル	構成施設	文化センター
劣化状況調査	未実施	大規模改修	未実施
耐震性	- (旧耐震性基準)	耐震度調査	未実施
施設の目的	地域住民が自主的に教養の向上、健康の増進及び情操の純化を図る場として、地域の生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与するため。		

## 2. 施設の現況

(1) 建物性能 ※建物性能の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
文化センター	4	8	6	12	2	32

(2) 年間利用者数 (単位: 人)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
176	188	199	200

(3) 施設維持管理費 (単位: 円)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
142, 548	137, 548	128, 548	119, 248

(4) 利用料等収入 (単位: 円)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
22, 000	43, 000	23, 000	20, 000

## 3. 施設の基本方針

方向性	存 続	行動計画	現状維持	管理方法	指定管理
<p><b>【施設の現状と課題】</b>            避難場所に指定されています。            現在は、地域住民の集会の場となっているほか、冠婚葬祭等で利用されています。現状では大きな損傷等はありませんが、建設後 40 年以上経過しているため、今後は老朽化による建物や設備の破損・劣化が懸念されます。            平成 30 年度 (2018 年度) に屋根改修工事を実施しました。</p>					
<p><b>【基本方針】</b>            地域住民のコミュニティ活動の推進及び地域の防災活動等の拠点となっており、今後も地域住民の利用需要が見込まれることから施設を存続します。今後は施設の老朽化が進行し、建物や設備の損傷や劣化の発生・進行が予測されるため、計画的な点検を実施の上、改修や修繕を実施し、施設の長寿命化を図っていきます。</p>					

施設所管課	健康保険課
-------	-------

## 1. 施設の概要

施設名称	田の尻文化センター	代表建築年度	1975
所在地	鶴田町大字尾原字下亀甲 26 番地 7	総延床面積 (㎡)	193
主体構造	木造モルタル	構成施設	文化センター
劣化状況調査	未実施	大規模改修	未実施
耐震性	- (旧耐震性基準)	耐震度調査	未実施
施設の目的	地域住民が自主的に教養の向上、健康の増進及び情操の純化を図る場として、地域の生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与するため。		

## 2. 施設の現況

(1) 建物性能 ※建物性能の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
文化センター	4	8	6	4	2	24

(2) 年間利用者数 (単位: 人)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
120	110	100	70

(3) 施設維持管理費 (単位: 円)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
103,250	106,467	85,912	88,865

(4) 利用料等収入 (単位: 円)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
0	0	0	0

## 3. 施設の基本方針

方向性	存 続	行動計画	現状維持	管理方法	指定管理
<p><b>【施設の現状と課題】</b>  避難場所に指定されています。  現在は、地域住民の集会の場となっているほか、冠婚葬祭等で利用されています。現状では大きな損傷等はありませんが、建設後 40 年以上経過しているため、今後は老朽化による建物や設備の破損・劣化が懸念されます。  平成 25 年度 (2013 年度) に屋根の改修工事を実施しました。</p>					
<p><b>【基本方針】</b>  地域住民のコミュニティ活動の推進及び地域の防災活動等の拠点となっており、今後も地域住民の利用需要が見込まれることから施設を存続します。今後は施設の老朽化が進行し、建物や設備の損傷や劣化の発生・進行が予測されるため、計画的な点検を実施の上、改修や修繕を実施し、施設の長寿命化を図っていきます。</p>					



施設所管課	教育委員会
-------	-------

## 1. 施設の概要

施設名称	西中野文化センター	代表建築年度	1972
所在地	鶴田町大字木筒字上掛橋 48 番地	総延床面積 (㎡)	151
主体構造	木造モルタル	構成施設	文化センター
劣化状況調査	未実施	大規模改修	未実施
耐震性	- (旧耐震性基準)	耐震度調査	未実施
施設の目的	地域住民が自主的に教養の向上、健康の増進及び情操の純化を図る場として、地域の生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与するため。		

## 2. 施設の現況

(1) 建物性能 ※建物性能の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
文化センター	4	8	6	16	2	36

(2) 年間利用者数 (単位: 人)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
201	204	206	200

(3) 施設維持管理費 (単位: 円)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
212, 474	132, 474	126, 474	117, 262

(4) 利用料等収入 (単位: 円)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
5, 000	6, 000	4, 000	5, 000

## 3. 施設の基本方針

方向性	存 続	行動計画	現状維持	管理方法	指定管理
<p>【施設の現状と課題】</p> <p>避難場所に指定されています。</p> <p>現在は、地域住民の集会の場となっているほか、冠婚葬祭等で利用されています。現状では大きな損傷等はありませんが、建設後 50 年近く経過しているため、今後は老朽化による建物や設備の破損・劣化が懸念されます。</p> <p>平成 25 年度 (2013 年度) に下水道接続及びトイレ改修工事を実施しました。</p>					
<p>【基本方針】</p> <p>地域住民のコミュニティ活動の推進及び地域の防災活動等の拠点となっており、今後も地域住民の利用需要が見込まれることから施設を存続します。今後は施設の老朽化が進行し、建物や設備の損傷や劣化の発生・進行が予測されるため、計画的な点検を実施の上、改修や修繕を実施し、施設の長寿命化を図っていきます。</p>					



施設所管課	教育委員会
-------	-------

## 1. 施設の概要

施設名称	木筒文化センター	代表建築年度	1990
所在地	鶴田町大字木筒字上柳川 31 番地 4	総延床面積 (㎡)	235
主体構造	木造	構成施設	文化センター
劣化状況調査	未実施	大規模改修	未実施
耐震性	- (新耐震性基準)	耐震度調査	未実施
施設の目的	地域住民が自主的に教養の向上、健康の増進及び情操の純化を図る場として、地域の生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与するため。		

## 2. 施設の現況

(1) 建物性能 ※建物性能の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
文化センター	20	8	6	12	2	48

(2) 年間利用者数 (単位: 人)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
321	646	206	500

(3) 施設維持管理費 (単位: 円)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
239,704	225,704	209,704	216,191

(4) 利用料等収入 (単位: 円)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
38,000	108,000	22,000	80,000

## 3. 施設の基本方針

方向性	存 続	行動計画	現状維持	管理方法	指定管理
<p>【施設の現状と課題】</p> <p>避難場所に指定されています。</p> <p>現在は、地域住民の集会の場となっているほか、冠婚葬祭等で利用されています。現状では大きな損傷等はありませんが、建設後 30 年以上経過しているため、今後は老朽化による建物や設備の破損・劣化が懸念されます。</p> <p>平成 31 年度 (2019 年度) に屋根の改修工事を実施しました。</p>					
<p>【基本方針】</p> <p>地域住民のコミュニティ活動の推進及び地域の防災活動等の拠点となっており、今後も地域住民の利用需要が見込まれることから施設を存続します。今後は施設の老朽化が進行し、建物や設備の損傷や劣化の発生・進行が予測されるため、計画的な点検を実施の上、改修や修繕を実施し、施設の長寿命化を図っていきます。</p>					

施設所管課	教育委員会
-------	-------

## 1. 施設の概要

施設名称	間山文化センター	代表建築年度	1965
所在地	鶴田町大字野木字下糺 57 番地 1	総延床面積 (㎡)	262
主体構造	木造モルタル	構成施設	文化センター
劣化状況調査	未実施	大規模改修	未実施
耐震性	- (旧耐震性基準)	耐震度調査	未実施
施設の目的	地域住民が自主的に教養の向上、健康の増進及び情操の純化を図る場として、地域の生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与するため。		

## 2. 施設の現況

(1) 建物性能 ※建物性能の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
文化センター	4	8	6	16	2	36

(2) 年間利用者数 (単位: 人)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
690	580	432	450

(3) 施設維持管理費 (単位: 円)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
250, 405	311, 405	322, 405	320, 302

(4) 利用料等収入 (単位: 円)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
65, 000	49, 000	40, 000	50, 000

## 3. 施設の基本方針

方向性	存 続	行動計画	現状維持	管理方法	指定管理
<p>【施設の現状と課題】</p> <p>避難場所に指定されています。</p> <p>現在は、地域住民の集会の場となっているほか、冠婚葬祭等で利用されています。建設後 50 年以上経過しているため、老朽化による建物や設備の破損・劣化が年々生じています。現状では、外壁の部分崩落が生じています。</p> <p>平成 23 年度 (2011 年度) に増築及び内部改修工事を実施しました。</p>					
<p>【基本方針】</p> <p>地域住民のコミュニティ活動の推進及び地域の防災活動等の拠点となっており、今後も地域住民の利用需要が見込まれることから施設を存続します。今後は施設の老朽化が進行し、建物や設備の損傷や劣化の発生・進行が予測されるため、計画的な点検を実施の上、改修や修繕を実施し、施設の長寿命化を図っていきます。</p>					

施設所管課	教育委員会
-------	-------

## 1. 施設の概要

施設名称	野木ふれあいセンター	代表建築年度	2010
所在地	鶴田町大字野木字西松虫 27 番地 1	総延床面積 (㎡)	288
主体構造	木造	構成施設	ふれあいセンター
劣化状況調査	未実施	大規模改修	未実施
耐震性	- (新耐震性基準)	耐震度調査	未実施
施設の目的	地域住民相互の交流を図り、住みよい地域社会づくりを推進するため。		

## 2. 施設の現況

(1) 建物性能 ※建物性能の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
ふれあいセンター	20	32	6	20	6	84

(2) 年間利用者数 (単位: 人)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
564	980	790	800

(3) 施設維持管理費 (単位: 円)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
486, 689	340, 689	305, 689	300, 515

(4) 利用料等収入 (単位: 円)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
169, 000	286, 000	258, 000	230, 000

## 3. 施設の基本方針

方向性	存 続	行動計画	現状維持	管理方法	指定管理
<p>【施設の現状と課題】 避難場所に指定されています。 現在は、地域住民の集会の場となっているほか、冠婚葬祭等で利用されています。建設後 10 年経過しており、現状では建物や設備の破損・劣化は生じていません。</p>					
<p>【基本方針】 地域住民のコミュニティ活動の推進及び地域の防災活動等の拠点となっており、今後も地域住民の利用需要が見込まれることから施設を存続します。今後は建物や設備の損傷や劣化の発生・進行が予測されるため、計画的な点検を実施の上、改修や修繕を実施し、施設の長寿命化を図っていきます。</p>					

施設所管課	教育委員会
-------	-------

## 1. 施設の概要

施設名称	強巻文化センター	代表建築年度	1978
所在地	鶴田町大字鶴田字鷹ノ尾 99 番地 3	総延床面積 (㎡)	155
主体構造・階数	木造モルタル	構成施設	文化センター
劣化状況調査	未実施	大規模改修	未実施
耐震性	- (旧耐震性基準)	耐震度調査	未実施
施設の目的	地域住民が自主的に教養の向上、健康の増進及び情操の純化を図る場として、地域の生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与するため。		

## 2. 施設の現況

(1) 建物性能 ※建物性能の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
文化センター	4	8	6	4	2	24

(2) 年間利用者数 (単位: 人)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
154	297	199	250

(3) 施設維持管理費 (単位: 円)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
117, 228	126, 228	117, 228	117, 984

(4) 利用料等収入 (単位: 円)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
4, 000	24, 000	8, 000	15, 000

## 3. 施設の基本方針

方向性	存 続	行動計画	現状維持	管理方法	指定管理
<p>【施設の現状と課題】</p> <p>避難場所に指定されています。</p> <p>現在は、地域住民の集会の場となっているほか、冠婚葬祭等で利用されています。現状では大きな損傷等はありませんが、建設後 40 年以上経過しているため、今後は老朽化による建物や設備の破損・劣化が懸念されます。</p> <p>平成 24 年度 (2012 年度) に屋根トタンの葺き替え工事を実施しました。</p>					
<p>【基本方針】</p> <p>地域住民のコミュニティ活動の推進及び地域の防災活動等の拠点となっており、今後も地域住民の利用需要が見込まれることから施設を存続します。今後は施設の老朽化が進行し、建物や設備の損傷や劣化の発生・進行が予測されるため、計画的な点検を実施の上、改修や修繕を実施し、施設の長寿命化を図っていきます。</p>					

施設所管課	教育委員会
-------	-------

## 1. 施設の概要

施設名称	大巻ふれあいセンター	代表建築年度	1999
所在地	鶴田町大字大巻字柳葉 309 番地	総延床面積 (㎡)	285
主体構造	木造	構成施設	ふれあいセンター
劣化状況調査	未実施	大規模改修	未実施
耐震性	- (新耐震性基準)	耐震度調査	未実施
施設の目的	地域住民相互の交流を図り、住みよい地域社会づくりを推進するため。		

## 2. 施設の現況

(1) 建物性能 ※建物性能の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
ふれあいセンター	20	16	6	12	2	56

(2) 年間利用者数 (単位: 人)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
733	691	745	650

(3) 施設維持管理費 (単位: 円)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
165,067	237,067	143,067	176,109

(4) 利用料等収入 (単位: 円)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
110,000	95,000	116,000	110,000

## 3. 施設の基本方針

方向性	存 続	行動計画	現状維持	管理方法	指定管理
<p>【施設の現状と課題】</p> <p>避難場所に指定されています。</p> <p>現在は、地域住民の集会の場となっているほか、冠婚葬祭等で利用されています。現状では大きな損傷等はありませんが、建設後 20 年以上経過しているため、今後は老朽化による建物や設備の破損・劣化が懸念されます。</p> <p>平成 30 年度 (2018 年度) に外壁塗装工事を実施しました。</p>					
<p>【基本方針】</p> <p>地域住民のコミュニティ活動の推進及び地域の防災活動等の拠点となっており、今後も地域住民の利用需要が見込まれることから施設を存続します。今後は施設の老朽化が進行し、建物や設備の損傷や劣化の発生・進行が予測されるため、計画的な点検を実施の上、改修や修繕を実施し、施設の長寿命化を図っていきます。</p>					

施設所管課	教育委員会
-------	-------

## 1. 施設の概要

施設名称	亀田新田子ふれあいセンター	代表建築年度	2001
所在地	鶴田町大字鶴田字大泉 79 番地 1	総延床面積 (㎡)	316
主体構造	木造	構成施設	ふれあいセンター
劣化状況調査	未実施	大規模改修	未実施
耐震性	- (新耐震性基準)	耐震度調査	未実施
施設の目的	地域住民相互の交流を図り、住みよい地域社会づくりを推進するため。		

## 2. 施設の現況

(1) 建物性能 ※建物性能の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
ふれあいセンター	20	16	6	12	6	60

(2) 年間利用者数 (単位: 人)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
733	891	645	650

(3) 施設維持管理費 (単位: 円)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
432, 492	497, 492	406, 492	422, 112

(4) 利用料等収入 (単位: 円)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
132, 000	152, 000	67, 000	80, 000

## 3. 施設の基本方針

方向性	存 続	行動計画	現状維持	管理方法	指定管理
<p>【施設の現状と課題】 避難場所に指定されています。 現在は、地域住民の集会の場となっているほか、冠婚葬祭等で利用されています。現状では大きな損傷等はありませんが、建設後 20 年近く経過しているため、今後は老朽化による建物や設備の破損・劣化が懸念されます。 平成 30 年度 (2018 年度) に外壁塗装工事を実施しました。</p> <p>【基本方針】 地域住民のコミュニティ活動の推進及び地域の防災活動等の拠点となっており、今後も地域住民の利用需要が見込まれることから施設を存続します。今後は施設の老朽化が進行し、建物や設備の損傷や劣化の発生・進行が予測されるため、計画的な点検を実施の上、改修や修繕を実施し、施設の長寿命化を図っていきます。</p>					

施設所管課	教育委員会
-------	-------

## 1. 施設の概要

施設名称	瀬良沢ふれあいセンター	代表建築年度	1998
所在地	鶴田町大字瀬良沢字篠田 40 番地 2	総延床面積 (㎡)	593
主体構造	木造	構成施設	ふれあいセンター
劣化状況調査	未実施	大規模改修	未実施
耐震性	- (新耐震性基準)	耐震度調査	未実施
施設の目的	地域住民の連帯意識を高め、健康で文化的な近隣社会の建設とその発展に寄与するため。		

## 2. 施設の現況

(1) 建物性能 ※建物性能の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
ふれあいセンター	20	8	6	12	2	48

(2) 年間利用者数 (単位: 人)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
790	505	296	400

(3) 施設維持管理費 (単位: 円)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
435, 858	390, 858	313, 858	388, 009

(4) 利用料等収入 (単位: 円)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
90, 000	40, 000	10, 000	30, 000

## 3. 施設の基本方針

方向性	存 続	行動計画	現状維持	管理方法	指定管理
<p>【施設の現状と課題】</p> <p>避難場所に指定されています。</p> <p>現在は、地域住民の集会の場となっているほか、冠婚葬祭等で利用されています。現状では大きな損傷等はありませんが、建設後 20 年以上経過しているため、今後は老朽化による建物や設備の破損・劣化が懸念されます。</p> <p>平成 23 年度 (2011 年度) に外壁工事を実施しました。</p>					
<p>【基本方針】</p> <p>地域住民のコミュニティ活動の推進及び地域の防災活動等の拠点となっており、今後も地域住民の利用需要が見込まれることから施設を存続します。今後は施設の老朽化が進行し、建物や設備の損傷や劣化の発生・進行が予測されるため、計画的な点検を実施の上、改修や修繕を実施し、施設の長寿命化を図っていきます。</p>					



施設所管課	教育委員会
-------	-------

## 1. 施設の概要

施設名称	松倉文化センター	代表建築年度	1970
所在地	鶴田町大字沖字藤巻 99 番地 5	総延床面積 (㎡)	233
主体構造	木造モルタル	構成施設	文化センター
劣化状況調査	未実施	大規模改修	未実施
耐震性	- (旧耐震性基準)	耐震度調査	未実施
施設の目的	地域住民が自主的に教養の向上、健康の増進及び情操の純化を図る場として、地域の生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与するため。		

## 2. 施設の現況

(1) 建物性能 ※建物性能の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
文化センター	4	8	6	4	2	24

(2) 年間利用者数 (単位: 人)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
256	310	148	200

(3) 施設維持管理費 (単位: 円)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
305,936	307,936	311,936	310,066

(4) 利用料等収入 (単位: 円)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
30,000	40,000	20,000	30,000

## 3. 施設の基本方針

方向性	存 続	行動計画	現状維持	管理方法	指定管理
<p>【施設の現状と課題】</p> <p>避難場所に指定されています。</p> <p>現在は、地域住民の集会の場となっているほか、冠婚葬祭等で利用されています。現状では大きな損傷等はありませんが、建設後 50 年以上経過しているため、今後は老朽化による建物や設備の破損・劣化が懸念されます。</p>					
<p>【基本方針】</p> <p>地域住民のコミュニティ活動の推進及び地域の防災活動等の拠点となっており、今後も地域住民の利用需要が見込まれることから施設を存続します。今後は施設の老朽化が進行し、建物や設備の損傷や劣化の発生・進行が予測されるため、計画的な点検を実施の上、改修や修繕を実施し、施設の長寿命化を図っていきます。</p>					



施設所管課	教育委員会
-------	-------

## 1. 施設の概要

施設名称	横范ふれあいセンター	代表建築年度	2003
所在地	鶴田町大字横范字松倉2番地1	総延床面積(m <sup>2</sup> )	299
主体構造	木造	構成施設	ふれあいセンター
劣化状況調査	未実施	大規模改修	未実施
耐震性	- (新耐震性基準)	耐震度調査	未実施
施設の目的	地域住民相互の交流を図り、住みよい地域社会づくりを推進するため。		

## 2. 施設の現況

(1) 建物性能 ※建物性能の合計は100点満点(表1参照) (単位:点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
ふれあいセンター	20	16	6	4	6	52

(2) 年間利用者数 (単位:人)

過去3か年			将来推計
2017年度	2018年度	2019年度	2026年度
276	558	660	550

(3) 施設維持管理費 (単位:円)

過去3か年			将来推計
2017年度	2018年度	2019年度	2026年度
361,968	322,968	303,968	298,771

(4) 利用料等収入 (単位:円)

過去3か年			将来推計
2017年度	2018年度	2019年度	2026年度
42,000	72,000	75,000	60,000

## 3. 施設の基本方針

方向性	存続	行動計画	現状維持	管理方法	指定管理
<p>【施設の現状と課題】 避難場所に指定されています。 現在は、地域住民の集会の場となっているほか、冠婚葬祭等で利用されています。現状では大きな損傷等はありませんが、建設後20年近く経過しているため、今後は老朽化による建物や設備の破損・劣化が懸念されます。</p>					
<p>【基本方針】 地域住民のコミュニティ活動の推進及び地域の防災活動等の拠点となっており、今後も地域住民の利用需要が見込まれることから施設を存続します。今後は施設の老朽化が進行し、建物や設備の損傷や劣化の発生・進行が予測されるため、計画的な点検を実施の上、改修や修繕を実施し、施設の長寿命化を図っていきます。</p>					

施設所管課	教育委員会
-------	-------

## 1. 施設の概要

施設名称	沖ふれあいセンター	代表建築年度	2017
所在地	鶴田町大字沖字岡田 289 番地 1	総延床面積 (㎡)	257
主体構造	木造モルタル	構成施設	ふれあいセンター
劣化状況調査	未実施	大規模改修	未実施
耐震性	- (新耐震性基準)	耐震度調査	未実施
施設の目的	地域住民相互の交流を図り、住みよい地域社会づくりを推進するため。		

## 2. 施設の現況

(1) 建物性能 ※建物性能の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
ふれあいセンター	20	40	6	20	8	94

(2) 年間利用者数 (単位: 人)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
907	570	833	700

(3) 施設維持管理費 (単位: 円)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
389, 016	352, 275	231, 275	300, 515

(4) 利用料等収入 (単位: 円)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
92, 000	70, 000	131, 000	100, 000

## 3. 施設の基本方針

方向性	存 続	行動計画	現状維持	管理方法	指定管理
<p>【施設の現状と課題】 避難場所に指定されています。 現在は、地域住民の集会の場となっているほか、冠婚葬祭等で利用されています。建設から 3 年経過しており、現状では建物や設備の破損・劣化は生じていません。</p>					
<p>【基本方針】 地域住民のコミュニティ活動の推進及び地域の防災活動等の拠点となっており、今後も地域住民の利用需要が見込まれることから施設を存続します。今後は建物や設備の損傷や劣化の発生・進行が予測されるため、計画的な点検を実施の上、改修や修繕を実施し、施設の長寿命化を図っていきます。</p>					

施設所管課	教育委員会
-------	-------

## 1. 施設の概要

施設名称	山道文化センター	代表建築年度	1995
所在地	鶴田町大字山道字小泉 371 番地	総延床面積 (㎡)	284
主体構造	木造	構成施設	文化センター
劣化状況調査	未実施	大規模改修	未実施
耐震性	- (新耐震性基準)	耐震度調査	未実施
施設の目的	地域住民が自主的に教養の向上、健康の増進及び情操の純化を図る場として、地域の生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与するため。		

## 2. 施設の現況

(1) 建物性能 ※建物性能の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
文化センター	20	8	6	12	4	50

(2) 年間利用者数 (単位: 人)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
1, 182	1, 423	448	700

(3) 施設維持管理費 (単位: 円)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
82, 860	82, 860	82, 860	79, 823

(4) 利用料等収入 (単位: 円)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
180, 000	195, 000	15, 000	50, 000

## 3. 施設の基本方針

方向性	存 続	行動計画	現状維持	管理方法	指定管理
<p>【施設の現状と課題】</p> <p>避難場所に指定されています。</p> <p>現在は、地域住民の集会の場となっているほか、冠婚葬祭等で利用されています。現状では大きな損傷等はありませんが、建設後 25 年以上経過しているため、今後は老朽化による建物や設備の破損・劣化が懸念されます。</p> <p>平成 30 年度 (2018 年度) に暖房機の取替工事を実施しました。</p>					
<p>【基本方針】</p> <p>地域住民のコミュニティ活動の推進及び地域の防災活動等の拠点となっており、今後も地域住民の利用需要が見込まれることから施設を存続します。今後は施設の老朽化が進行し、建物や設備の損傷や劣化の発生・進行が予測されるため、計画的な点検を実施の上、改修や修繕を実施し、施設の長寿命化を図っていきます。</p>					

施設所管課	教育委員会
-------	-------

## 1. 施設の概要

施設名称	中野文化センター	代表建築年度	1965
所在地	鶴田町大字胡桃館字北田 21 番地	総延床面積 (㎡)	202
主体構造	木造モルタル	構成施設	文化センター
劣化状況調査	未実施	大規模改修	未実施
耐震性	- (旧耐震性基準)	耐震度調査	未実施
施設の目的	地域住民が自主的に教養の向上、健康の増進及び情操の純化を図る場として、地域の生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与するため。		

## 2. 施設の現況

(1) 建物性能 ※建物性能の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
文化センター	4	8	6	4	2	24

(2) 年間利用者数 (単位: 人)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
755	842	199	200

(3) 施設維持管理費 (単位: 円)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
150,091	135,091	144,091	146,469

(4) 利用料等収入 (単位: 円)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
35,000	11,000	23,000	20,000

## 3. 施設の基本方針

方向性	存 続	行動計画	現状維持	管理方法	指定管理
<p>【施設の現状と課題】 避難場所に指定されています。 現在は、地域住民の集会の場となっているほか、冠婚葬祭等で利用されています。建設後 55 年以上経過しているため、老朽化による建物や設備の破損・劣化が年々生じています。現状では、外壁の部分崩落が生じています。</p>					
<p>【基本方針】 地域住民のコミュニティ活動の推進及び地域の防災活動等の拠点となっており、今後も地域住民の利用需要が見込まれることから施設を存続します。今後は施設の老朽化が進行し、建物や設備の損傷や劣化の発生・進行が予測されるため、計画的な点検を実施の上、改修や修繕を実施し、施設の長寿命化を図っていきます。</p>					

施設所管課	教育委員会
-------	-------

## 1. 施設の概要

施設名称	境・胡桃館ふれあいセンター	代表建築年度	2005
所在地	鶴田町大字胡桃館字北田 21 番地	総延床面積 (㎡)	404
主体構造	木造	構成施設	ふれあいセンター
劣化状況調査	未実施	大規模改修	未実施
耐震性	- (新耐震性基準)	耐震度調査	未実施
施設の目的	地域住民相互の交流を図り、住みよい地域社会づくりを推進するため。		

## 2. 施設の現況

(1) 建物性能 ※建物性能の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
ふれあいセンター	20	24	6	4	6	60

(2) 年間利用者数 (単位: 人)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
1,850	2,020	1,250	1,200

(3) 施設維持管理費 (単位: 円)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
430,730	386,730	355,730	379,410

(4) 利用料等収入 (単位: 円)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
344,000	300,000	161,000	220,000

## 3. 施設の基本方針

方向性	存 続	行動計画	現状維持	管理方法	指定管理
<p>【施設の現状と課題】</p> <p>避難場所に指定されています。</p> <p>現在は、地域住民の集会の場となっているほか、冠婚葬祭等で利用されています。建設から 15 年以上経過していますが、現状では建物や設備の破損・劣化は生じていません。</p>					
<p>【基本方針】</p> <p>地域住民のコミュニティ活動の推進及び地域の防災活動等の拠点となっており、今後も地域住民の利用需要が見込まれることから施設を存続します。今後は施設の老朽化が進行し、建物や設備の損傷や劣化の発生・進行が予測されるため、計画的な点検を実施の上、改修や修繕を実施し、施設の長寿命化を図っていきます。</p>					

施設所管課	教育委員会
-------	-------

## 1. 施設の概要

施設名称	鶴泊ふれあいセンター	代表建築年度	2007
所在地	鶴田町大字鶴泊字東田 15 番地	総延床面積 (㎡)	298
主体構造	木造	構成施設	ふれあいセンター
劣化状況調査	未実施	大規模改修	未実施
耐震性	- (新耐震性基準)	耐震度調査	未実施
施設の目的	地域住民相互の交流を図り、住みよい地域社会づくりを推進するため。		

## 2. 施設の現況

(1) 建物性能 ※建物性能の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
ふれあいセンター	20	24	6	4	6	60

(2) 年間利用者数 (単位: 人)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
919	576	532	550

(3) 施設維持管理費 (単位: 円)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
296, 761	297, 761	259, 761	258, 574

(4) 利用料等収入 (単位: 円)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
147, 000	112, 000	100, 000	100, 000

## 3. 施設の基本方針

方向性	存 続	行動計画	現状維持	管理方法	指定管理
<p>【施設の現状と課題】 避難場所に指定されています。 現在は、地域住民の集会の場となっているほか、冠婚葬祭等で利用されています。建設から 15 年以上経過していますが、現状では建物や設備の破損・劣化は生じていません。</p>					
<p>【基本方針】 地域住民のコミュニティ活動の推進及び地域の防災活動等の拠点となっており、今後も地域住民の利用需要が見込まれることから施設を存続します。今後は施設の老朽化が進行し、建物や設備の損傷や劣化の発生・進行が予測されるため、計画的な点検を実施の上、改修や修繕を実施し、施設の長寿命化を図っていきます。</p>					

施設所管課	教育委員会
-------	-------

## 1. 施設の概要

施設名称	あやめふれあいセンター	代表建築年度	1993
所在地	鶴田町大字菖蒲川字一本柳 321 番地 3	総延床面積 (㎡)	349
主体構造	木造	構成施設	ふれあいセンター
劣化状況調査	未実施	大規模改修	未実施
耐震性	- (新耐震性基準)	耐震度調査	未実施
施設の目的	地域住民相互の交流を図り、住みよい地域社会づくりを推進するため。		

## 2. 施設の現況

(1) 建物性能 ※建物性能の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
ふれあいセンター	20	8	6	4	4	42

(2) 年間利用者数 (単位: 人)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
1,505	1,010	845	800

(3) 施設維持管理費 (単位: 円)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
425,331	343,331	339,331	348,559

(4) 利用料等収入 (単位: 円)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
510,000	250,000	180,000	180,000

## 3. 施設の基本方針

方向性	存 続	行動計画	現状維持	管理方法	指定管理
<p>【施設の現状と課題】</p> <p>避難場所に指定されています。</p> <p>現在は、地域住民の集会の場となっているほか、冠婚葬祭等で利用されています。現状では大きな損傷等はありませんが、建設後 25 年以上経過しているため、今後は老朽化による建物や設備の破損・劣化が懸念されます。</p>					
<p>【基本方針】</p> <p>地域住民のコミュニティ活動の推進及び地域の防災活動等の拠点となっており、今後も地域住民の利用需要が見込まれることから施設を存続します。今後は施設の老朽化が進行し、建物や設備の損傷や劣化の発生・進行が予測されるため、計画的な点検を実施の上、改修や修繕を実施し、施設の長寿命化を図っていきます。</p>					



施設所管課	教育委員会
-------	-------

## 1. 施設の概要

施設名称	大性ふれあいセンター	代表建築年度	2002
所在地	鶴田町大字菖蒲川字一本柳 321 番地 3	総延床面積 (㎡)	294
主体構造	木造	構成施設	ふれあいセンター
劣化状況調査	未実施	大規模改修	未実施
耐震性	- (新耐震性基準)	耐震度調査	未実施
施設の目的	地域住民相互の交流を図り、住みよい地域社会づくりを推進するため。		

## 2. 施設の現況

(1) 建物性能 ※建物性能の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
ふれあいセンター	20	16	6	4	6	52

(2) 年間利用者数 (単位: 人)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
850	343	465	450

(3) 施設維持管理費 (単位: 円)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
332, 932	302, 932	312, 932	317, 788

(4) 利用料等収入 (単位: 円)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
198, 000	50, 000	64, 000	60, 000

## 3. 施設の基本方針

方向性	存 続	行動計画	現状維持	管理方法	指定管理
<p>【施設の現状と課題】</p> <p>避難場所に指定されています。</p> <p>現在は、地域住民の集会の場となっているほか、冠婚葬祭等で利用されています。現状では大きな損傷等はありませんが、建設後 20 年近く経過しているため、今後は老朽化による建物や設備の破損・劣化が懸念されます。</p>					
<p>【基本方針】</p> <p>地域住民のコミュニティ活動の推進及び地域の防災活動等の拠点となっており、今後も地域住民の利用需要が見込まれることから施設を存続します。今後は施設の老朽化が進行し、建物や設備の損傷や劣化の発生・進行が予測されるため、計画的な点検を実施の上、改修や修繕を実施し、施設の長寿命化を図っていきます。</p>					



施設所管課	建設整備課
-------	-------

## 1. 施設の概要

施設名称	駅東町営住宅集会所	代表建築年度	1975
所在地	鶴田町大字鶴田字小泉 441 番地 1	総延床面積 (㎡)	103.68
主体構造	木造モルタル	構成施設	集会所
劣化状況調査	未実施	大規模改修	未実施
耐震性	- (旧耐震性基準)	耐震度調査	未実施
施設の目的	公営住宅の居住者が使いやすい集会所であるとともに、居住者のコミュニケーションを促す交流拠点として、さらには地域づくりの活動拠点として設置。		

## 2. 施設の現況

(1) 建物性能 ※建物性能の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
集会所	4	8	10	4	2	28

(2) 年間利用者数 (単位: 人)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
664	523	629	500

(3) 施設維持管理費 (単位: 円)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
56,823	60,850	58,716	60,000

(4) 利用料等収入 (単位: 円)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
173,000	185,000	170,000	170,000

## 3. 施設の基本方針

方向性	存 続	行動計画	更 新	管理方法	指定管理
<p>【施設の現状と課題】</p> <p>避難場所に指定されています。</p> <p>現在は、地域住民の集会の場となっております。現状では大きな損傷等はありませんが、建設後 40 年以上経過しているため、今後は老朽化による建物や設備の破損・劣化が懸念されません。</p>					
<p>【基本方針】</p> <p>地域住民のコミュニティ活動の推進及び地域の防災活動等の拠点となっており、今後も地域住民の利用需要が見込まれることから施設を存続します。今後は施設の老朽化が進行し、建物や設備の損傷や劣化の発生・進行が予測されることから、駅東団地の建替えと共に集会所の建替えを実施します。</p>					

施設所管課	建設整備課
-------	-------

## 1. 施設の概要

施設名称	鶴寿団地集会所	代表建築年度	1978
所在地	鶴田町大字木筒字上柳川 46 番地 1	総延床面積 (㎡)	155
主体構造	鉄骨造	構成施設	集会所
劣化状況調査	未実施	大規模改修	未実施
耐震性	- (旧耐震性基準)	耐震度調査	未実施
施設の目的	公営住宅の居住者が使いやすい集会所であるとともに、居住者のコミュニケーションを促す交流拠点として、さらには地域づくりの活動拠点として設置。		

## 2. 施設の現況

(1) 建物性能 ※建物性能の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
集会所	4	8	8	4	2	26

(2) 年間利用者数 (単位: 人)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
141	248	440	200

(3) 施設維持管理費 (単位: 円)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
98,063	60,062	138,704	100,000

(4) 利用料等収入 (単位: 円)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
110,000	80,000	176,935	100,000

## 3. 施設の基本方針

方向性	存 続	行動計画	現状維持	管理方法	指定管理
<p>【施設の現状と課題】</p> <p>避難場所に指定されています。</p> <p>現在は、地域住民の集会の場となっております。現状では大きな損傷等はありませんが、建設後 40 年以上経過しているため、今後は老朽化による建物や設備の破損・劣化が懸念されません。</p>					
<p>【基本方針】</p> <p>地域住民のコミュニティ活動の推進及び地域の防災活動等の拠点となっており、今後も地域住民の利用需要が見込まれることから施設を存続します。今後は施設の老朽化が進行し、建物や設備の損傷や劣化の発生・進行が予測されるため、計画的な点検を実施の上、改修や修繕を実施し、施設の長寿命化を図っていきます。</p>					

施設所管課	建設整備課
-------	-------

## 1. 施設の概要

施設名称	みどり町集会所	代表建築年度	1997
所在地	鶴田町大字鶴田字沖津 237 番地 4	総延床面積 (㎡)	160
主体構造	木造	構成施設	集会所
劣化状況調査	未実施	大規模改修	未実施
耐震性	- (新耐震性基準)	耐震度調査	未実施
施設の目的	公営住宅の居住者が使いやすい集会所であるとともに、居住者のコミュニケーションを促す交流拠点として、さらには地域づくりの活動拠点として設置。		

## 2. 施設の現況

(1) 建物性能 ※建物性能の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
集会所	20	8	10	4	2	44

(2) 年間利用者数 (単位: 人)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
631	580	353	500

(3) 施設維持管理費 (単位: 円)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
103, 520	102, 633	109, 316	100, 000

(4) 利用料等収入 (単位: 円)

過去 3 か年			将来推計
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2026 年度
129, 054	170, 544	155, 646	100, 000

## 3. 施設の基本方針

方向性	存 続	行動計画	現状維持	管理方法	指定管理
<p>【施設の現状と課題】</p> <p>避難場所に指定されています。</p> <p>現在は、地域住民の集会の場となっております。現状では大きな損傷等はありませんが、建設後 20 年以上経過しているため、今後は老朽化による建物や設備の破損・劣化が懸念されません。</p>					
<p>【基本方針】</p> <p>地域住民のコミュニティ活動の推進及び地域の防災活動等の拠点となっており、今後も地域住民の利用需要が見込まれることから施設を存続します。今後は施設の老朽化が進行し、建物や設備の損傷や劣化の発生・進行が予測されるため、計画的な点検を実施の上、改修や修繕を実施し、施設の長寿命化を図っていきます。</p>					

【表1】建物性能

評価基準に重みを掛けたものを建物性能とします。

評価基準		重み
①耐震性能	5点：新耐震基準（建築年が1981年（昭和56年）以降） 4点：旧耐震基準であるが耐震性有（Is値0.72以上） 3点：旧耐震基準であるが耐震性有（Is値0.6以上） 2点：旧耐震基準であるが今後耐震改修の計画有り 1点：旧耐震基準（建築年が昭和56年前）	×4
②老朽化状況	法定耐用年数に対する建築経過年数の割合を以下の区分で評価。 5点：0～25%未満 4点：25～50%未満 3点：50～75%未満 2点：75～100%未満 1点：100%以上	×8
③主体構造	5点：主体構造が鉄骨鉄筋コンクリート、鉄筋コンクリート、プレキャストコンクリート等 4点：主体構造が鉄骨造、軽量鉄骨造など 3点：主体構造が木造、コンクリートブロックなど	×2
④大規模改修状況	5点：建築後10年以内の建物（大規模改修が不要） 4点：建物本体の改修を実施 3点：設備の改修を実施 2点：未実施だが、改修計画有り 1点：未実施	×4
⑤福祉性能	エレベーター、多目的トイレ、車いす用スロープ、自動ドア、手すり、点字ブロックの6項目のうち、対応している項目数に応じて評価。 5点：4項目以上対応済 4点：3項目対応済 3点：2項目対応済 2点：1項目対応済 1点：未対応	×2